

広尾町議会 常任委員会行政視察レポート用紙

議員名 旗手恵子

1. 今回の視察調査での重点項目は何でしたか。また、その理由は。

(1)釣り文化振興モデル港の運営状況（苫小牧市）

苫小牧港湾管理組合（市舎）で説明を受け、現地視察。

苫小牧港は全国18の国際拠点港湾のひとつで、北海道最大の海上物流拠点。国内物流中心の西港区と、コニテナ貨物中心に輸出入の拠点となる東港区からなり、海岸線は約24km。港湾区域は約14,340ha。港湾施設を、観光資源として利活用しようと国土交通省は平成31年に釣り文化振興のモデル港を全国で募集。これまで16港が指定され、苫小牧

2. 実際に視察してみての感想は。港は令和2年度に北海道で初めて選ばれたとの事でした。

(2)オートキャンプ場の施設及び、運営状況

オニセクターが運営する通年営業のキャンプ場オトリソート苫小牧アルテニを視察。2020年度の宿泊客は、前年度比、15.4%増の49,455人。1992年度開業以来最高を更新。新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、「密」をさけられる娯楽としてキャンプ場の安心感が高まった事が追い風となつた。樽前山のふもとに位置するアルテニは、充実した設備のログハウスや、利便性が良くて快適なバーガローなど

目的に合わせて選べます。（キャンプサイト209区画）※裏面に続く

広尾町議会



3. 今回の視察調査結果を、今後の議員活動にどのように活かしますか。

(1) 十勝港で安全に釣りができる環境をつくる
事が可能なのか。

(2) オートキャンプ場は、「自然のリラクゼーション
ステーション」検討する必要あると思う。

4. その他(自由記載)

※提出いただいた内容は必要に応じて要約等を行い、議会広報で町民に
お知らせすることとしていますので、ご了承ください。